

1. この授業で付けたい力

表現者としての可能性を開拓し、他者と共に美術表現の理解を深め合う過程で育まれる、自己を表現する力。

2. 展開 【合計20時間】

展開	主な内容	時間数
導入	①油絵の具の特性を知る。 ②油画の作品鑑賞。 ・古典から近代まで	1時間
構成	①テーマの設定。 ②下絵の制作。 ・縦横10等分の線が引いてあるワークシートを使用。 ・下絵に必要な資料を準備する。	2時間
制作	①キャンバスに縦横10等分の線を引き、原画を正確にキャンバスに拡大転写する ②下塗りをする。 ③遠景・中景・近景の順で着彩を進める ④暗め・中間明度・高明度の順で制作を進める ⑤線と色彩の調和を整える	16時間
鑑賞	①全日本学生美術展に出品する	1時間

3. 観点別評価

(1) 美術への関心・意欲・態度

油画の表現の魅力や文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。

(2) 発想や構想の能力

感性や想像力を働かせ、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。

(3) 創造的な技能

創造的な美術の表現をするために、主題に合った表現方法を工夫して、創造的に表現している。

(4) 鑑賞の能力

油画作品の表現や文化を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。